

# 夢を紡ぎて

上田市立長小学校

学校だより

令和3年11月15日

お互いの良さを伝え合う。～認めて 認められて 認め合う～

音楽発表会が終わると、各学級でその様子をビデオで視聴しました。ビデオを見ての感想をどの学年の子どもたちも書き、それを2階廊下の壁に掲示しました。



「姿勢が良くてカッコよかった。アコーディオンの音が良く聞こえていい音だった。」「迫力がすごかった。」「4年生になったら、リメンバーミーをやりたい。」「6年生になったら、あのくらい速く演奏をしたい。」と一人一人が、各学年の良さを言葉で表現し、自分も・・・と自分に返していました。

こんなに温かい気持ちを持っている子どもたち、その気持ちを自分の言葉で表現できる子どもたち、そんな子どもたちの素晴らしさがもっともっと広がるようにと考えています。

そして、11月8日から「なかよし月間」が始まりました。



なかよし月間のテーマは、『自分を大切に・友だちを大切に・友だちの輪を広げよう。』です。自分の良さ、友だちの良さを知り、お互いが大切な存在であることに気づいて、今よりもさらに温かい長小学校になっていくことを願っています。

「なかよしの木」は、友だちの良さや友だちへのありがとうが書かれた葉や果物のカードで一杯になり、二本目の木が立ちました。一枚一枚のカードを真剣に読んでいる子どもたち。「認めて認められて認め合う」そんな気持ちを子どもたちの姿から感じます。

学校目標における重点目標に、「相手意識の醸成」と掲げています。相手を思いやり、心配りの心を育てたいという願いがありますが、子ども達の心の中に、相手を思う優しさが育っているのではないかと思います。なかよしの木を嬉しそうに見ている子ども達の姿を大切に、しっかりとこの取り組みを活かしていきたいと考えています。

また、なかよし月間では、なかよしアンケートを行い、子どもたち一人一人と話をする時間を作ったりしています。子ども達一人一人が悲しい思いをしていないかアンテナを高くし、学校が楽しいと感じられる長小学校を目指していきます。

11月10日は、人権についての校長講話がありました。

「人権」というのは、この世の中に生まれてきた誰もが、幸せに生きていくことができる権利ということ。だれにも、幸せに生きていくことを じゃまされないということ。

誰かが、人をいじめたり、暴力を振るったり、陰口を言ったり、仲間はずしをしたりすることは許されないということ。誰一人、いらない人はいない。みんな、ひとりひとり大切な人です。友だちのことを大切に思って、優しい気持ちで、お互いに仲良くする。それが、「人権」で大切なこと。

この世の中に、誰一人同じ人はいません。みんな違っています。みんな、絶対に違った良いところをもって生まれてきた、大切な人なのです。たとえ今は、自分の良いところが見つけれなくても、大切な一人なのです。

大切な一人だという証拠 人権のある証拠 として名前があります。

皆さんには、ひとりひとりみんな、違う名前がついています。呼び方は同じでも、字が違っている。字が同じでも、名前に込められた願いは、それぞれ違います。名前が、「大切なひとりなんだよ」という証拠です。

「人を大切にすること」「名前を大切にすること」を考えていきましょう。

長小学校では、職員は、子どもたちを「さん」「くん」で呼びます。子どもたち一人一人が大切な存在です。その思いを伝えながら、さらに温かい長小学校を目指していきます。

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

### 1. 学力調査の結果について

(国語)

- ・正答率の傾向は全国や県と似ていますが、全ての領域に於いて全国や県のポイントを下回りました。指導要領の領域では「話すこと・聞くこと」と「読むこと」での正答率が低い結果となっています。
- ・「話すこと」では「資料を用いた目的を理解する」問題での得点が特に低い結果となっています。「読むこと」では「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」問題での正答率が低かったです。
- ・「資料の扱い方に関する事項」と「読むこと」および「書くこと」を相互に関連させた授業づくりを行うことにより、目的に応じて「読むこと」および「書くこと」の資質・能力をつける学習を進めていきます。
- ・今後、単元によっては標準学習コースと安心して学習できる基礎コースといったコース別少人数学習を展開しながら基礎的な力をつけていきます。

(算数)

- ・正答率の傾向は全国や県と似ていますが、全ての領域に於いて全国や県のポイントを下回りました。
- ・問題別では「速さを求める除法の式と商の意味を理解している」、「二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く」、「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」での正答率が低かったです。
- ・速さや面積を求める公式を忘れていることやグラフの読み方が身に付いていないことが原因の一つであると考えられます。
- ・今後、学年を遡った復習を取り入れていながら学習を進めていきます。
- ・国語科と同様にコース別少人数学習を実施して理解を深められる工夫をしていきます。

### 2. 「児童質問用紙」から見える6年生の特徴

- ・毎日朝食を食べること、決まった時刻に起床・就寝しています。
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている子が多くいます。
- ・友達の話や意見を最後まで聞くことができますが、自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことを苦手としている子が多いです。
- ・子どもたちが自分の思いを伝え合うことができる場を工夫し、目標に向かって取り組むことができる子どもたちの良さをさらに伸ばしていきます。